

BUSINESS REPORT

第75期報告書 2017年4月1日>>>2018年3月31日

株式会社村上開明堂

証券コード：7292

私たちは、社業を通じて 「人の役に立つ」村上開明堂を 目指します。

「もの」に込める“技術”と“思い”、
企業活動を通じて「絆」を結び、
社会に「幸せ」を提供し、輝く未来をつくります。



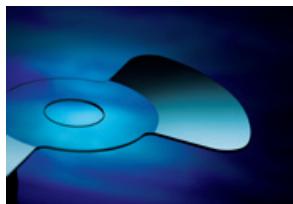
ミラーシステム事業

自動車用バックミラーは、コンパクトなボディに薄膜・機構・電気系といった多様な技術で構成されています。この複合システムを一貫体制で自社開発・設計・生産している専門メーカーは世界でも稀で、当社はその先駆けといえます。ミラーに特化した専門技術と、次世代ミラーを実現する開発力で、国内の主要自動車メーカー各社から信頼をいただいています。近年では海外展開に注力しており、国内シェアNo.1から世界トップメーカーへの飛躍を目指しています。



オプトロニクス事業

高精度の光学薄膜技術をはじめ、ミラーシステム事業で培った多様な技術力を活かして、より幅広い分野にアプローチするオプトロニクス事業。OA機器に組み込まれる高反射ミラーや、映像機器に用いるダイクロイックミラー、自動車のヘッドアップディスプレイに組み込まれる曲面ガラスミラーなど、多様な機能を持つミラー・フィルター類を中心とした光学機器用部品の製造を行なっています。ミラーシステムと同様、開発から生産までの一貫体制を強みとして、お客様の要望に合わせた柔軟な提案力に対応します。



その他事業

樹脂原料販売、物流・運送、人材派遣など、お客様のニーズに応じて多様な事業を関連会社で展開。これからも各事業のネットワークを拡充し、グローバルカンパニー・村上開明堂を支えていきます。



社長ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第75期（2017年4月1日から2018年3月31日まで）の事業の概況につきまして、ここにご報告申し上げます。

当期の経営成績

当連結会計年度は、世界各国において同時進行で緩やかな景気回復となりました。当社の主要市場について、日本では企業収益が最高水準となり個人消費が増加するなど景気回復が続きました。米国経済も堅調に推移し、中国の景気も持ち直しの動きが見られました。また、タイやインドネシアの経済も緩やかに回復しました。

当社グループの主要な取引先である自動車業界におきましては、日本国内では軽自動車を含む新車販売台数の高い伸びが見られました。米国では新車販売台数が減少した一方、中国では前年の減税特需の反動により伸び率が低下したものの依然として自動車市場は拡大基調にあります。タイやインドネシアでは景気回復とともに内需が伸び生産台数も堅調に増加しました。これらの結果、世界全体の自動車生産台数は前年を上回りました。

このような状況下において当社グループは、グローバル市場での事業拡大に向け海外拠点を拡充し、原材料の現地調達化や生産性向上などの原価低減活動を推進し、グループ一丸となって企業体質の強化を図ってまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は72,229百万円となり、前連結会計年度に比べて2,322百万円（3.3%）の増加となりました。

また、経常利益は8,489百万円となり、前連結会計年度に比べて922百万円（12.2%）の増加、親会社株主に帰属する当期純利益は5,262百万円となり、前連結会計年度に比べて241百万円（4.8%）の増加となりました。

期末配当金につきましては、1株につき20円とさせていただきます。この結果、年間配当金は1株につき36円となります。

次期の見通し

今後の経済見通しにつきましては、米国、中国、日本、ASEAN諸国をはじめ世界同時進行での景気回復が継続し、世界経済の成長がさらに加速すると見込まれます。一方で

保護主義的な通商政策の拡大や地政学的リスクによる世界経済への影響も懸念されます。自動車業界では、新興国の需要拡大を背景に引き続き販売台数の増加が見込まれます。また、自動運転をはじめ新たな社会ニーズを満たす様々な技術の登場によって、産業のさらなる活性化が予想されます。

このような状況の中で、当社グループは、バックミラーの世界シェア拡大に向けて、海外生産拠点の拡充、世界最適調達の推進や生産性向上を目的とした設備増強など、戦略的投資を進めてまいります。また、自動車用安全視認システムのトップメーカーとして、電子ミラーやヘッドアップディスプレイなどの製品開発に注力するとともに、自動運転車や安全運転支援システムに向けた新技術開発にも取り組んでまいります。

海外生産拠点の拡充につきましては、一昨年に設立した「佛山村上汽车配件有限公司」に続き、中国3番目となるバックミラーの生産拠点として、2018年1月天津市に「天津村上汽车配件有限公司」を設立いたしました。現在、2019年4月の生産開始に向け工場建設を進めております。これら中国への取り組みに加え、需要拡大の見込まれる他の新興国地域への進出も視野に活動してまいります。

連結業績予想につきましては、堅調なバックミラー販売が見込まれるものの、減価償却費や研究開発費の増加、為替変動による利益の減少などを見込み、売上高は73,000百万円、営業利益は6,700百万円、経常利益は7,200百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は4,400百万円を予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2018年6月



代表取締役社長 村上太郎

グローバルネットワーク

株式会社村上開明堂九州
株式会社村上開明堂化成
株式会社エイジー
株式会社村上エクスプレス
株式会社村上開明堂ビジネスサービス

MURAKAMI MANUFACTURING
INDIA PRIVATE LTD. (MMI)

日本

売上構成比
62%



本社 (静岡市)



藤枝工場 (藤枝市)



Murakami Manufacturing U.S.A.Inc.
(MMUS)



大井川工場 (藤枝市)



築地工場 (藤枝市)

北米

売上構成比
14%

Murakami Germany GmbH (MMG)

アジア

売上構成比
24%



MURAKAMI AMPAS (THAILAND)
CO.,LTD. (MATCO)



Murakami Mold Engineering
(Thailand) Co.,Ltd. (MMET)



Murakami Manufacturing
(Thailand) Co.,Ltd. (MMT)



Murakami Corporation
(Thailand) Ltd. (MCT)



嘉興村上汽車配件有限公司 (MIC)

天津村上汽車配件有限公司 (FMIC)

佛山村上汽車配件有限公司 (TMIC)



PT.Murakami Delloyd Indonesia (MDI)



Murakami Manufacturing
Mexico, S.A. de C.V. (MMME)

アジア

売上高は、主にタイにおける自動車用バックミラーの販売数量の減少により17,109百万円となり、前連結会計年度に比べて986百万円(5.5%)の減少となりました。営業利益は、中国における利益率の改善があったものの、タイにおける売上高の減少により2,964百万円となり、前連結会計年度に比べて130百万円(4.2%)の減少となりました。

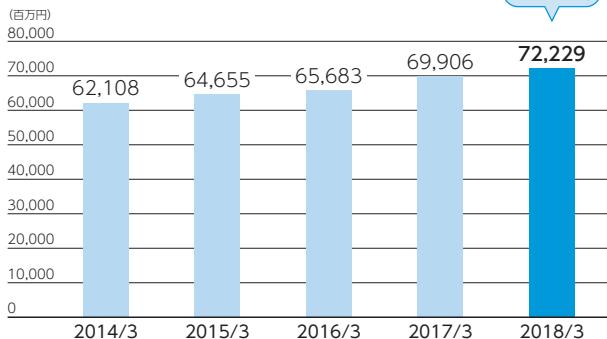
北米

売上高は、米国における自動車用バックミラーの販売数量の減少などにより10,422百万円となり、前連結会計年度に比べて1,326百万円(11.3%)の減少となりました。営業利益は、メキシコ新工場における創業赤字が縮小したものの、米国における売上高の減少により660百万円となり、前連結会計年度に比べて62百万円(8.7%)の減少となりました。

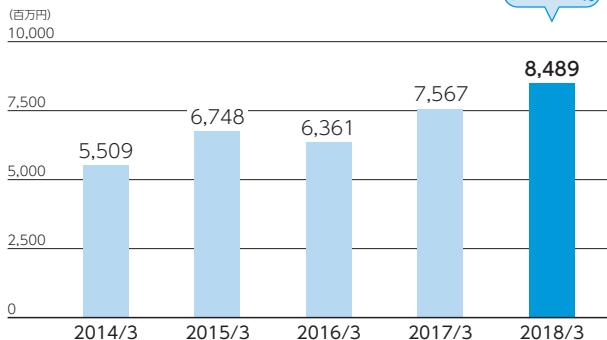
日本

売上高は、主力の自動車用バックミラーの販売数量の増加により44,697百万円となり、前連結会計年度に比べて4,635百万円(11.6%)の増加となりました。営業利益は、売上高の増加や生産性向上による原価低減効果により4,082百万円となり、前連結会計年度に比べて665百万円(19.5%)の増加となりました。

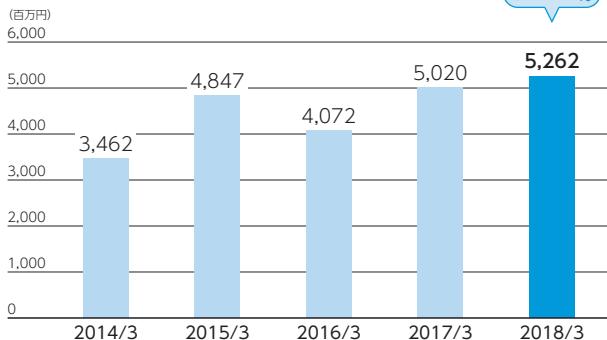
売上高



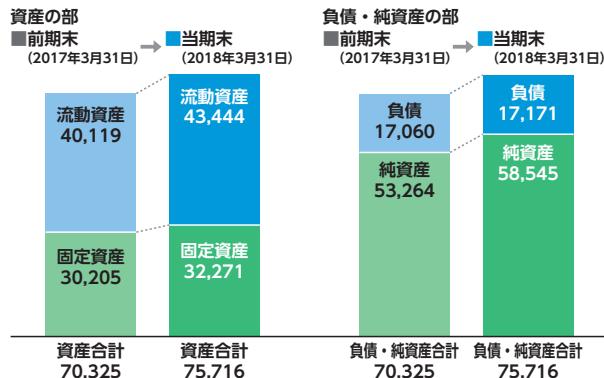
経常利益



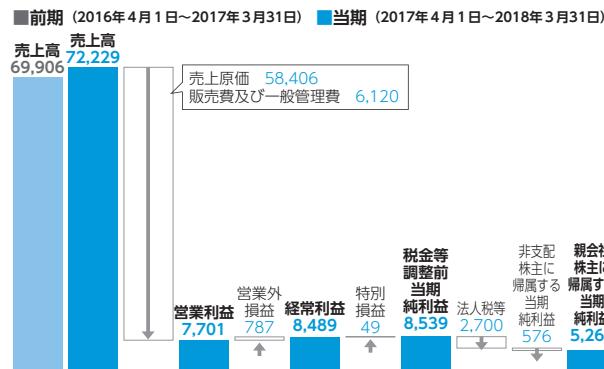
親会社株主に帰属する当期純利益



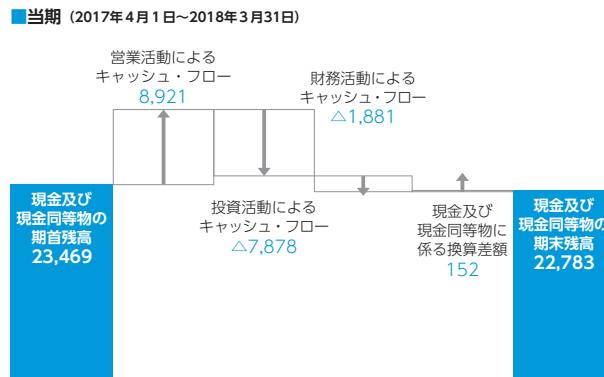
連結貸借対照表 (百万円)



連結損益計算書 (百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)



会社の概要

商号 株式会社村上開明堂
 設立 1948年3月27日
 資本金 3,165,445,000円
 発行済株式総数 13,100,000株

事業内容 自動車用バックミラー、
 ファインガラスの製造
 及び販売
 従業員数 連結：2,796名
 単体：894名

役員 (2018年6月28日現在)

取締役

取締役社長 (代表取締役) 村上 太郎
 専務取締役 奥野 雅治
 常務取締役 望月 義人
 常務取締役 沖本 美敏
 取締役相談役 村上 英二
 取締役 長谷川 猛
 取締役 マイケル ローデンバーグ
 取締役 杉澤 達弥
 ※取締役 岩崎 清悟

(注) ※印の取締役は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

監査役

監査役 増井 邦夫
 (常勤)
 ※監査役 齋藤 安彦
 ※監査役 石橋 三洋
 ※監査役 櫻井 透

(注) ※印の監査役は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

執行役員

常務執行役員 服部 有
 常務執行役員 原田 利恵子
 執行役員 菊地 俊明
 執行役員 村松 規行
 執行役員 糟谷 篤太
 執行役員 前田 健裕
 執行役員 松田 裕昭
 執行役員 吉永 晃
 執行役員 島村 昌宏
 執行役員 星野 立法

主要な営業所及び工場

本社：静岡県静岡市

工場：藤枝工場（静岡県藤枝市）
 大井川工場（静岡県藤枝市）
 築地工場（静岡県藤枝市）

関係会社

国内

株式会社村上開明堂九州
 株式会社村上開明堂化成
 株式会社エージー
 株式会社村上エクスプレス
 株式会社村上開明堂ビジネスサービス

海外

Murakami Manufacturing U.S.A.Inc.
 Murakami Manufacturing Mexico, S.A. de C.V.
 嘉興村上汽車配件有限公司
 Murakami Manufacturing(Thailand)Co.,Ltd.
 MURAKAMI AMPAS(THAILAND)CO.,LTD.
 Murakami Mold Engineering(Thailand)Co.,Ltd.
 PT.Murakami Delloyd Indonesia
 Murakami Corporation(Thailand)Ltd.
 MURAKAMI MANUFACTURING INDIA PRIVATE LTD.
 佛山村上汽車配件有限公司
 天津村上汽車配件有限公司
 Murakami Germany GmbH

株式情報

発行可能株式総数…………… 29,900,000株
 発行済株式の総数…………… 13,100,000株
 株主数…………… 1,230名

大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社豊英社	1,860	14.4
村上太郎	1,045	8.1
ビービーエイチ フォー ファイデリティ ロー プライズド ストック フアンド (プリンシパル オール セクター サポートフォリオ)	788	6.1
旭硝子株式会社	739	5.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	624	4.8
株式会社中島屋ホテルズ	460	3.5
株式会社静岡銀行	459	3.5
明治安田生命保険相互会社	447	3.4
バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカウント ジエイピーアールデイ アイエスジー エフイーエイシー	432	3.3
東京中小企業投資育成株式会社	402	3.1

(注) 1. 表示単位未満を切り捨てて表示しております。
 2. 出資比率は、自己株式229,124株を控除して計算しております。
 3. 株式会社三菱東京UFJ銀行は、2018年4月1日付にて株式会社三菱UFJ銀行に
 名称変更を行っております。

株式分布状況

<所有者別>



(注) () 内の数値及びグラフは所有株式数の構成比率を表しています。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
- 公告の方法 電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。
<http://www.murakami-kaimeido.co.jp/usIr/koukoku>
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先
(電話照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行なっております。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

